

平成 18 年度鳥取市政懇話会 第 1 回教育福祉部会議事要旨

日時：平成 18 年 4 月 17 日（金）午後 2 時～午後 3 時 30 分

場所：鳥取市役所駅南庁舎 地下第 2 会議室

出席者

【委員】安藤委員、池本委員、川口委員、下田委員、俣臈委員、仲山委員、三谷委員、吉田委員、吉村委員 <欠席 木村委員、溝口委員>

【鳥取市】<事務局（企画調整課）>大田スタッフ、中原スタッフ

協議内容

事務局 前回の会議で決まったように、本日は本年度の役員の選出と平成 18 年度のテーマについて協議する。

新年度の部会長、副部会長についてどのように決めるのか。皆さんの互選とか選考委員会を設けて決めるとか方法があるが。

委員 2、3 人の選考委員会を設け、決めてはどうか。

一同 了承

部会長 それでは、俣臈副部会長、川口委員、仲山委員に選考委員をお願いする。

（選考委員会）

委員 選考委員を代表して報告する。安藤委員を部会長、吉田委員を副部会長にお願いしたい。

一同 了承

部会長 本年度の会の運営についてあらかじめ方向を決めておくことが必要。回数は基本的に 3 回と決まっている。またテーマをどういう割振りで進めるか。

各委員 会の回数、市政懇話会の位置づけ、テーマの設定の仕方など意見。

部会長 様々な意見をいただいた。教育、福祉、人権という大きなテーマで開催し、必要に応じ会の回数を増やすなど柔軟に進めていき、出た意見を事務局に取りまとめていただく。

一同 了承

部会長 次回の会議のテーマは教育とするが、教育全般という形にするか、家庭・地域・学校教育などある程度絞り議論していくか。

委員 昨年度議論した内容を絞り込む方向が良い。総合計画も参考として。

委員 あまり範囲を狭くすると話しにくいのでは。学力について等は専門知識も必要。

部会長 それでは、教育など分野ごとで開催し、その中でテーマを出し合い、それをもとに議論することとする。次回は教育全般とする。

事務局 教育に関するテーマについて、事前に照会する。

部会長 その他、何か教育について発言があればお願いします。

委員 徘徊をする少年が多いとのこと。学力も大切だが、人間としての命、おもいやり

が大切、すぐきれるようなことではいけない。勉強だけ出来たらよいというものではない。人として、人間としてということが重要。

こどもの命に関する様々な事件が生じている。まず、子どもを守ることが重要。ボランティアで防犯ステッカーを自動車に付けたいと考えている。購入に当たって市の支援は出来ないか。市民が目を光らせているということが大切。

出前講座を行い、鳥取の良さなども話している。小さいときに感動を与えることが大切。公民館活動にも参加するよう呼びかけている。

部会長 防犯ステッカーについては、各地域で取り組んでいるところもある。

委員 子どもたちの意見や思いを聞くことも大切である。

委員 きれる子どもも、小さい時はそうでなかった場合もある。子どもへの親の教育の仕方にも問題があるのでは。

委員 妊娠したときに親にそういう教育をする必要があるのでは。

委員 問題がある子ども、その親も苦しんでいる。地域で暖かく受け入れ、助け合うことや地域活動に参加させる仕組みが必要。あいさつ運動など取り組んでいる。

部会長 それでは、本日の会議はこれで終了する。次回は5月19日(金)午後2時から開催し、テーマは教育とする。